

題材名

「おとでよびかけっこ」

～つくって楽しい私の音楽！ねえ 聴いて！！～

1. 学 年 第1学年 33名 (男子 20名 女子 13名)

2. 教材名 「行進曲」 チャイコフスキー 作曲 他

3. 題材の目標

○楽器による呼びかけ合う音楽の面白さを感じ取りながら聴いたり, 楽器でリレー遊びをしたりして楽しみながら簡単な音楽をつくる。

4. 学習指導要領との関わり

第1学年及び第2学年

○音を音楽にしていくことを楽しみながら, 音楽の仕組みを生かし, 思いをもって簡単な音楽をつくること。

【A表現 (3) イ】

○音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴くこと。

【B鑑賞 (1) イ】

[共通事項] ア (ア) 音色, リズム, 強弱 (イ) 問いと答え

5. 評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
① いい音や面白い音を生かして呼びかけ合う活動や簡単な音楽をつくる活動に, 進んで取り組もうとしている。	① 音色やリズム, 強弱, 問いと答えなどを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら, 音楽の仕組みを生かし, 音を音楽にしていくことを色々と試して, どのように表現するかについて自分の考えや願いをもって簡単な音楽をつくる工夫をしている。	① 音楽の仕組みを生かして簡単な音楽をつくって表現している。	① 「行進曲」から問いと答えなどを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら, 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴いている。
② 問いと答えなどのよさや面白さを感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。			

6. 題材観・児童観・指導観

(1) 題材観

本題材は、楽器による呼びかけ合う音楽の面白さを感じ取りながら聴いたり、楽器でリレー遊びをしたりして楽しみながら簡単な音楽をつくることをねらいとする。

このねらいにせまるため、本題材では、「行進曲」を鑑賞し、問いと答えになっている部分を感じ取らせる。その後、「行進曲」を鑑賞して聴き取った問いと答えの音楽の仕組みを使って「簡単な音楽づくり」を行う。自分のリズムをつくり、その後、ペアでリズムの呼びかけ合いっこをする。ペアで活動することで、自分とは違ったリズムや、異なる楽器の音を聴き取り、楽器による呼びかけ合う音楽の面白さを感じ取ることができると考える。

この題材で学んだことを生かして、東城保育所の友達と自分達で作った楽器を使って交流会をすることになっている。保育所の友達と楽器を使って一緒に楽しむという目的意識を持ち、思いや意図をもって表現方法を考えることが期待できる。

(2) 児童観

本学級には、音楽活動に対する関心や意欲が高く、音楽づくりや楽器演奏にも意欲的に取り組んでいる児童が多い。しかし、楽器を力任せに演奏する児童も多く、それぞれの楽器のもついい響きを生かした演奏ができる児童が少ない。

児童は、1学期の題材「リズムとなかよし」の学習で、拍の流れや反復するリズムを感じ取って、リズム表現を楽しむことができた。「わくわくきっちゃん」の楽曲で、反復されるリズムフレーズのところにお気に入りのリズムを選んで手拍子する活動を行った。この学習では、主に拍の流れののってリズム表現ができることをねらいとした。この活動の中では、既に出来上がったリズム譜を選んで手拍子をしたために、自分でリズムは創作していない。そこで、この題材では、リズムを創作する活動を行う。

本題材を通して、問いと答えの面白さを感じ取りながら、楽器を使った呼びかけ合いができるようにしていきたい。

(3) 指導観

この題材では、前題材の「いいおとみつけて」で見つけた面白い音やお気に入りの音を使って、呼びかけっこをしていく。本題材の「おとでよびかけっこ」では、呼びかけっこの学習を生かして「簡単な音楽」をつくる活動を行う。

まずは、打楽器を使い、「お気に入りの音」で呼びかけたり答えたりする。音での会話が深まるように、音色やリズムに気を付けて表現させるようにする。また、友達との関わりの中で、相手から新たな考えやアイデアをもらい自分の表現に生かせるようにしていく。児童が「こんな音を出してみたい」と思ったならば、積極的に友達の真似をしてもよいことを伝える。

本題材では、主に「問いと答え」を取り上げる。打楽器でのいい音や面白い音を使って、音楽の仕組みである「問いと答え」を生かして、音楽にしていく。また、音を音楽にしていく過程をより充実させるために、「行進曲」を鑑賞する。聴くときには、楽器で呼びかけ合っているところに着目させるために、グループを二つに分けて、呼びかけ合っているところで座ったり立ったりする活動などを入れて、「問いと答え」を音楽に合わせて体を動かしたり、感じ取ったことや気が付いたことを伝え合ったりすることができるようにする。

本時では、「行進曲」を鑑賞して感じ取った「問いと答え」の音楽の仕組みを使って、「簡単な音楽」をつくる。まずは、一人で自分のリズムをつくり、その後、ペアでリズムの呼びかけ合いっこをする。次に、作ったリズムに「強弱」を付けて呼びかけ合いっこをする。その際、「自分の楽器とは違う楽器で音が返ってくる楽しさ」「同じ楽器であるが、自分とは違ったリズムで音が返ってくる楽しさ」を感じ取らせるよう、音と音楽の往還を行うようにする。

7. 題材の計画 (全4時間)

図画工作科と生活科との関連 (課題発見)



大太鼓は大きな音が出て面白いし、鈴は小さな音だけどかわいい音がして鳴らすときれいな音がするね。



学校にある楽器を鳴らすのも楽しいけど、楽器を自分達で作って見たらもっと楽しそうだね。育てたあさがおの種を箱に入れて振ったらどんな音がするのかな。



次	時	教材	主な学習活動 (○) 予想される児童の反応 (・)	評価規準 (評価方法)
第一次 (二時間)	一	がっきのまねっこ遊びかけっこしてめんどぼう	情報の収集 ○手拍子や足踏みで、リズムの問いかけに答える。 ・まねをするのが楽しいね。 ・手を打つ音と足踏みをする音は音の高さが違うね。 ○音色やリズム、強弱に気を付けながら、自分の作った楽器で呼びかけたり答えたりする。 ・楽器を使うと色々な音が聞こえてきて楽しいね。 ・強く打つと大きな音が出るし、優しく打つと小さな音が出るんだね。	ア一① (行動観察) イ一① (行動観察・発言の内容)
			課題の設定 ○リズム遊びを十分に行って楽しんだ後に、目標や課題をもたせる。 おとでよびかけっこをして、保育所の友達と一緒に楽しもう。	
第二次 (三時間)	二	「行進曲」「もっちゃんぽんぽん」	情報の収集 ○「行進曲」を音楽の仕組み(問いと答え)に着目しながら聴く。 ・色々な楽器の音が聴こえてくるね。 ・音が大きくなったり小さくなったりしているね。 ・違う楽器が交代で出てきて楽器でお話しているみたい。 ・元気な感じのところで、かわいらしい感じのところが交互に出てくるね。 ○8人1組のグループに分かれて、問いと答えを感じながら聴く。 ・僕はトランペットの楽器で演奏する真似をしてみるね。 ・私はバイオリンの楽器で演奏する真似をしてみるね。 ・自分の楽器を演奏した後に違う楽器で答えてくれるから楽しいね。	エ一① (行動観察・発言の内容)
	三【本時】		整理・分析 ○タンやタタ等のリズムを使って、自分のリズムをつかって自分の楽器で演奏する。 ・自分の作った楽器でリズム打ちをしてみたいな。 ・楽器でお話しているみたいで楽しいな。 ・僕の音の大きさに合わせて音を僕に返してみてくれる。 ○つくったリズムを使って、他の楽器と呼びかけ合ったり、答えたりする。 ・自分のつくったリズムとは違ったリズムが返ってきて面白いね。 ・自分が大きな音でリズムを打ったら、友達が小さな音で返してくれて、山で「ヤッホー」と叫んだ時みたいで楽しいね。 ・違うリズムや強弱をつけて呼びかけ合いっこをすることができたから、いつものまねっこ遊びがレベルアップできそうだね。	

四	<p>まとめ・表現</p> <p>○前時に作った自分のリズムを使って、8人1グループになり、リズムリレーを行う。</p> <p>○自分が工夫したことや呼びかけ合いの面白かったことを交流する。</p> <p>○保育所の子供達に真似っこ遊びの楽しさを伝えるたえにどのように演奏したらよいかをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いい音が鳴る楽器の鳴らし方を教えてあげたいね。 ・「たた」のリズムは保育所の子供達には少し難しいかな。 	ウー①（演奏聴取）
---	---	-----------

行事との関連（実行・振り返り）



身近にある物を使って楽器を作ることや自分で音楽をつくるって楽しいね。その音楽を保育所の子達に聴いてもらって、その音楽を聴いて拍手してくれた時は、嬉しい気持ちになったね。



友達と楽器を使ってお話するのは、楽しかったし、二人だけじゃなくて、クラスみんなでリズムリレーをして、みんなが拍の流れのってリズムリレーができた時はもっと楽しかったね。とちのみ祭（学習発表会）では何をしようかな？

8. 本時の指導（3/4時間）

(1) 本時の目標

「問いと答え」のリズムを工夫して、ペアで色々試しながら、どのように表現するかについて自分の考えや願いをもって簡単な音楽をつくる工夫をしている。

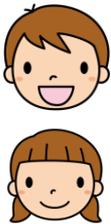
(2) 評価規準

・音の出し方やリズムに気を付けて、音楽の仕組みを生かして簡単な音楽をつくって表現することができる。

(3) 学習の展開

	学習内容と学習活動 予想される児童の姿	指導上の留意事項 (○) つまずきへの支援 (・)	評価規準 (評価方法)
つかむ	<p>1 リズムまねっこあそびを楽しむ。</p> <p>2 2つの範奏を聴いて表現の工夫を聴き取る。(問いと答えの対照)</p>	<p>○ 「問いと答え」「強弱」を感じ取ることができるリズム打ちや言葉のまねっこあそびをさせる。</p> <p>○ AとBのリズムが変わったことに気付かせる。(問いと答えの対照)</p>	
	 <p>二つの演奏では、何が違うと思いますか？</p>		
	 <p>これまでは、同じリズムを真似してきたけど、2回目は真似ではなくてA君とB君で違ったリズムで答えていてお話しているみたいでした。</p>		
	 <p>自分のリズムを作って友達と呼びかけ合いっこをしてみたいな。</p>		

考える	3 学習課題を確認する。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ㊦ 自分のリズムをつくって、相手のリズムを聴いて呼びかけ合いっこをしよう。 </div>		
繰り返す	4 タンとタタ等のリズムを使って、自分のリズムをつくって自分の楽器で演奏する。(個人思考)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と同じリズムになってもよいことを伝える。 ・「リズムをつくる」→「リズムを口ずさむ」→「手拍子でリズム打ち」→「楽器でリズム打ち」のスマールステップで学習を進めていく。 ・リズムをつくるのが難しい児童にはリズムパターンが書かれているカードを選ばせる。 	
	5 つくったリズムを使って、他の児童と楽器で呼びかけ合ったり、答えたりする。(ペア活動)	<ul style="list-style-type: none"> ・拍の流れにのってリズムを打てるようにさせるために、常にオルガンのメトロノームをかけておく。 	
まとめ	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> 自分のつくったリズムとは違ったリズムが返ってきて面白いね。 </div>		
	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> 作ったリズムが友達と一緒にだったけど、友達は自分とは違った楽器で演奏していたから狸のお母さんと子どもがお話しているみたいだね。 </div>		
	6 2つの範奏を聴いて表現の工夫を聴き取る。(強弱)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 膝や首などで拍の流れを感じ取っている児童を全体に紹介する。 ○ AとBのリズムで強弱を付けて表現していることに気付かせる。(強弱) 	音楽表現の創意工夫 イー①(行動観察・発言の内容・演奏聴取)
	7 つくったリズムを使って、他の楽器と呼びかけ合ったり、答えたりする。(ペア活動)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手の音の大きさを聴いてから、相手が大きい音なら小さい音で、小さい音なら大きい音で演奏させる。強弱が演奏で聴き取れない場合は、口頭で強弱の表現を相手に伝えてから演奏させる。 	
	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> 相手の音の大きさに合わせてリズム打ちをするためには、相手の演奏の仕方や音をよく聴いていないとだめだね。 </div>		
	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> 自分が大きな音でリズムを打ったら、友達が小さな音で返してくれて、山で「ヤッホー」て叫んだ時みたいで楽しいね。 </div>		

8 本時のまとめをし、振り返りをする。	○ 児童の発言を取り上げ価値付ける。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の楽器とは違った楽器の音が聴こえてくるからお話しているみたいだね。(音色) ・楽器は同じだったんだけど自分とは違ったリズムで音が返ってきて楽しいね。これまでのまねっこ遊びがレベルアップできそうだね。(問いと答え・リズム) ・友達の演奏の音の大きさに合わせて演奏するのが難しかったけど面白かった。(強弱) ・相手に自分のつくったリズムが友達によく伝わるように、いい響きがするように演奏の仕方を工夫したよ。 	
	○ 本時で楽しかったことを発表させた後、実際にその児童達に演奏させて、全員で楽しい部分を共有する。	

9. 板書計画

おとでよびかけっこ

かだい じぶんの リズムを つくって、 あいての リズムをきいて よびかけあいっこを しよう。

作り方

リズム①

リズム②

リズム③

リズム④

リズム⑤

リズム⑥

「行進曲」を鑑賞した時の譜面